

ISO/TC 127（土工機械）国際作業グループ 2012年6月ドイツ会議報告

ISO/TC 127/SC3/WG 9 - ISO 14990-1（電気駆動及びハイブリッドの安全性）ベルリン国際会議

2012年6月に、国際標準化機構ISOのTC 127土工機械専門委員会の傘下の主として電子技術に関連した国際作業グループの会議がドイツ国ベルリン市のVDMA（ドイツ機械工業連盟）で開催され、協会標準部会ISO/TC 127土工機械委員会から国際専門家(Expert)として出席の砂村氏他の報告を紹介する。

ISO/TC 127/SC 3/WG 9ベルリン国際会議出席報告

1 会議名：ISO/TC 127/SC3/WG 9-ISO 14990（電気駆動及びハイブリッドの安全性）

2 開催地：ドイツ国ベルリン市のVDMA（ドイツ機械工業連盟）会議室

3 開催日：平成24年6月18日（月）、19日（火）

4 出席者：チェコ1名：Karas, Michal（チェコ Bobcat／斗山）、ドイツ4名：Drees, Ulrich, Mr (BOMAG)、Kampmeier, René, Dipl.-Ing (VDMA ドイツ機械工業連盟)、Fenker, Oliver, Dr.、Sommer, Bernd, Mr (Liebherr)、日本3名：西畑 考志 氏（コマツ）、枝村 学 氏、砂村 和弘 氏（日立建機）、米国8名：Elliott, Mark, L, Mr、Lueschow, Kevin, J, Mr (Caterpillar)、Onsager, Mike, Mr (Caterpillar/Bucyrus)、Weires, Rick, Mr、Weidner, Gary, Mr、West, Orrin, Mr (Deere)、Gacioch, Mike(Michael), T, Mr (Deere)、Neva, Steve, Mr (Bobcat／斗山)、Wnukoski, George, Mr (GE transportation)、英国2名：Burrows, Alan, Mr、Blackburn, David, Mr (JCB) 計19名

● ISO/TC 127/SC 3/WG 9 コンビナー（主査）兼 ISO 14990PL（プロジェクトリーダー）：前記 Weires, Rick, Mr、なお、案文編集担当者は前記 Weidner, Gary, Mr

経緯：電気駆動（商用電源レベルのものが対象で、鉱山などの高圧は対象外ではあったが今回見直し）及びハイブリッドの建設機械が増加してきているので、これに対する安全要求事項のISO規格策定を米国提案で開始し、IEC 60204（JIS B 9960 機械類の安全性—機械の電気装置）に基づき、土工機械としての実情を考慮した形で進めているが、IECの文面の転載は、著作権の問題から難航している。また、前回会合で、規格を分割して、第1部を共通、第2部を外部電源、第3部を内部電源として扱うこととなった。

5 会議結果概要：会議で話し合われた事

5.1 PLのWeires, Rickが用意してあった、土工機械の電気安全に関するISO 14990と一般的な機械の電気安全に関するIEC 60204との対照表を、附属書（参考）にせよと、Neva, Steveから提案があり、了承された。

5.2 これまで低電圧指令の範囲を適用範囲にしていたが、より高圧側の36kVの給電電圧の機械まで対象とすることになった。その場合には漏洩電流がふえるのではないかと、論議になったが、発言できず。

5.3 より高電圧の機械や路上走行の機械も扱うので、最低限の要求事項を規定する規格ではなく、選択肢のある規格にしよう。

● 当面の作業項目（会議後、ISO側のTC 127議長と欧州標準化機関CEN側のKampmeier氏とが関与して調整）

1) 親委員会ISO TC 127での高電圧側を含める新業務項目提案実施（PL担当）[付記：他の各部も(再度の)新業務項目提案要]

a. これは第1部～第3部に引き続き、業務として設定

- b. 米国 Weires 氏が（高電圧側を含める新業務でも）プロジェクトリーダー
 - c. IEC 60204-11 の対象である高電圧給電も適用範囲に含めることとし、第4部とするか？
 - d. 国際規格としての案文の委員会原案 CD（または DIS 案文）を新業務項目提案と一緒に来年1月までに用意、来年の早い時点で投票へ
 - e. それまでに IEC 60204 転載の著作権問題を解決要
 - f. 欧州標準化機関 CEN との合同作業グループを提案
- 2) （高電圧側を含める件に関して）作業グループ専門家は皆 IEC 60204-11 からどの箇所を引用するか検討する

5.4 今回ベルリン作業グループ会議で合意したコメントに基づく案文修正は Gary Weidner 氏と PL の Weires 氏（いずれも米国 Deere 社）が担当

5.5 IEC の著作権抵触部分の書き直し（で抵触を避ける）： Gary Weidner 氏と PL が担当

6 次回会合予定：。2013年4月22日～26日の間に日米欧韓中各国建設機械工業会の技術交流合同会合JTLM（4月22日、23日予定）と重ならない日程でドイツ国BiberachのLiebherr社施設にて

以上